



志賀高原
ユネスコ
エコパーク

信州 たかやま議会

142号

2023年4月25日

発行/高山村議会
発行責任者/西原 澄夫
編集/議会報編集特別委員会

桜満開の入学式

子ども達の笑顔いっぱいの1日になりました
楽しい学校生活を送ってください！



3月定例会開催 2 - 6

令和5年度当初予算

予算審査特別委員会

【一般質問】10人の議員が登壇... 7 - 11

防犯灯の設置、維持管理

自治体公式LINE導入

ふるさと納税制度

森林利活用

高山村の将来人口

農業者年金

小水力発電事業化 他

あれからどうなった『一般質問その後』... 12 - 13

研修報告..... 13 - 14

議会と村づくりを語る会開催

村民の皆さんと議員とが一緒に考える会を開催
します。(詳細はP14をご覧ください)

たくさんの皆さんのご参加をお願いいたします。

●第1ブロック：堀之内研修センターにて
5月14日(日) 午後2時～

●第4ブロック：中山会館にて
5月21日(日) 午後2時～

トークテーマは
『子育て支援について』『地域の課題について』です。

など当初予算 45億円 (451,900万円)

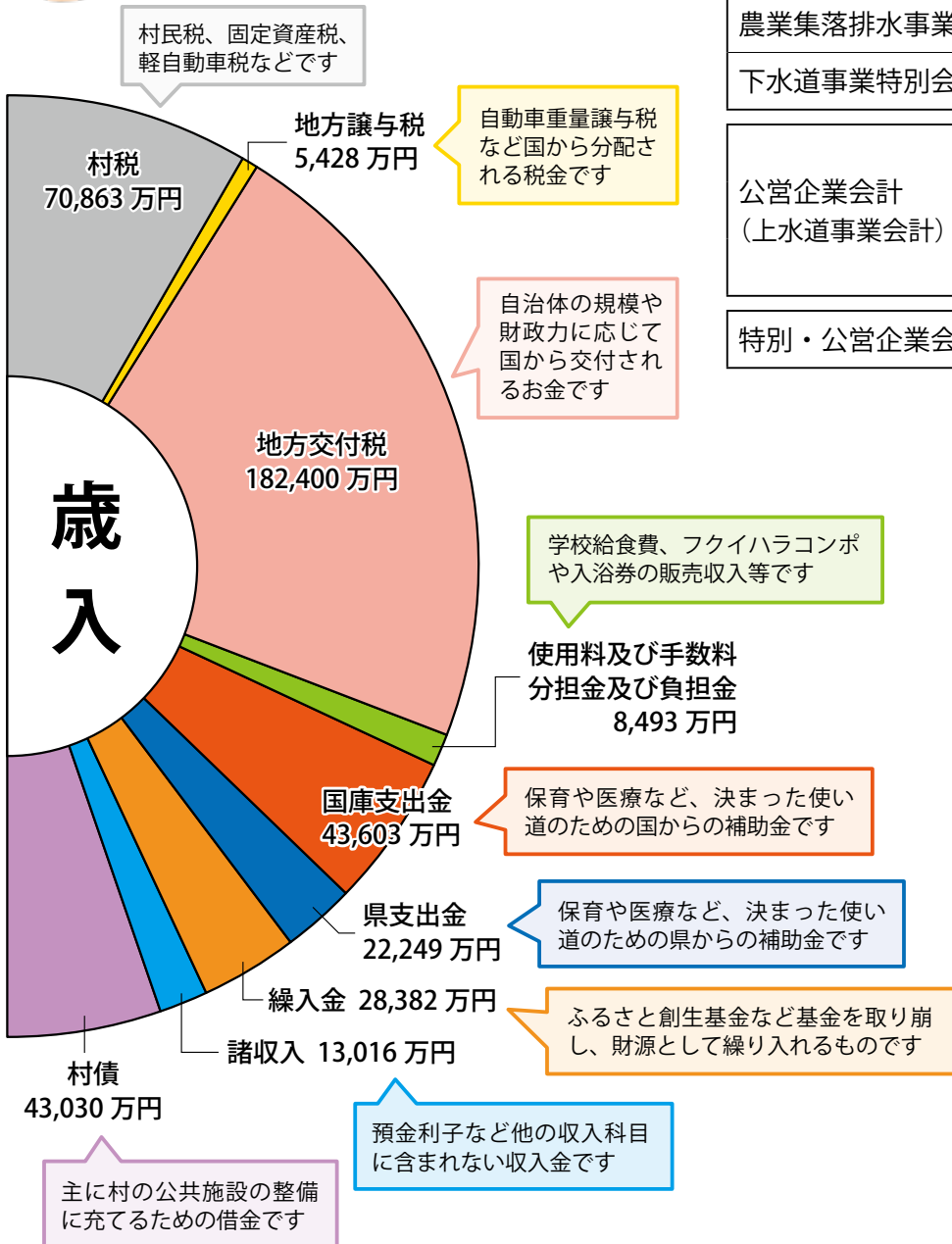
一般会計
 会計区分のひとつで、特別会計に属さないすべての会計のこと。4月1日から翌年3月31日までの会計年度の公共投資や福祉、教育など広く行政活動に使われます。

当初予算はこうやって決まります！

3月2日 本議会にて一括上程
 提案説明
 予算審査特別委員会設置
 3月9日～13日 予算審査特別委員会
 3月14日 議場にて予算審査特別委員会総括質疑
 3月17日 本議会にて委員長報告
 議案審議

特別会計・企業会計予算

会計名	予算額	
国民健康保険特別会計	83,610 万円	
診療所特別会計	7,572 万円	
介護保険特別会計	76,739 万円	
後期高齢者医療特別会計	9,765 万円	
温泉開発事業特別会計	3,690 万円	
農業集落排水事業特別会計	8,238 万円	
下水道事業特別会計	20,321 万円	
公営企業会計 (上水道事業会計)	収益的支出	11,661 万円
	資本的支出	12,368 万円
	計	24,030 万円
特別・公営企業会計	233,967 万円	



特別会計

国や地方公共団体の会計区分のひとつで、特定の収入、特定の支出を一般会計と切り離し、独立して行われる会計のことを言います。特定の事業や資金の運用の状況を明確化するのが目的で、それぞれ使い道が決められています。国民健康保険、介護保険など。

企業会計

地方公営企業法の全部、又は一部の適用を受ける公営企業の会計を指します。

令和5年度予算 主にこんなことに使われます

公共施設再エネ設備整備事業

3億5,630万円

ゼロカーボン社会の実現に向けて、再生可能エネルギーを活用するため、指定避難所である保健福祉総合センター（チャオル）に、太陽光パネルや蓄電池設備等を整備し、非常時にも備える。

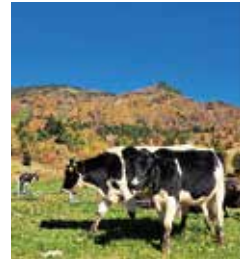


にぎわいの場創出事業

3,329万円

山田牧場に「にぎわいの場」を創出するための施設を整備する。

- ハイキングコース整備 ……600万円
- 休憩所整備…2,200万円 他



母子健康増進事業

503万円

妊・産婦健診や乳幼児健診など各種健診の充実を図り、母親の不安の解消や乳幼児の健やかな成長を支援する。産後ケア事業の宿泊型を拡大する。

空き家対策事業

1,634万円

空き家の有効活用を図るため購入・改修費用への補助のほか、新たに村が空き家を借り上げリフォームしたうえで賃貸物件として貸し付けを行う事業を開始する。

- 空き家購入等補助…590万円
- 空き家改修工事…700万円 他



上水道施設整備事業

7,939万円

水道施設の計画的な整備と水源の保全を図り、水道水の安定供給を行うとともに、電力等の価格高騰に伴う支援を実施する。

- 基本料金の減免等…910万円
- 久保水中間配水管布設替工事…6,500万円 他

旧土捨て場景観整備事業

141万円

なかひら地区にある旧土捨て場の石除去や整地を行い、しだれ桜や紅葉を植栽し、自然公園として景観整備を行う。

- 整地等工事…120万円
- 苗木購入…10万円 他



議会運営のために使うお金です
議会費 6,392万円

総務費 87,753万円
税務、戸籍、企画、総合的な行政運営に使うお金です

民生費 105,020万円
医療や福祉、子育てに使うお金です

衛生費 37,766万円

農林水産費 39,664万円

商工費 23,007万円

土木費 49,283万円

消防費 21,935万円

教育費 38,133万円

公債費 40,866万円

歳出

予算の不足等に充てるためのお金です
予備費等 2,075万円

委員会



3月9日から14日まで、令和5年度予算を集中審議するための予算審査特別委員会を開きました。

委員長に黒岩清道議員、副委員長に梨本進議員を選出し、課及び室ごと慎重に審査を行いました。

総務課

Q 役場宿直をシルバー人材センターに委託しているとの事だが、何日委託しているのか？また、職員は月に何日ぐらい宿直しているのか？

答 シルバー人材センターは毎日1名と役場職員1名の2名体制で行っている。

役場職員の宿直については、男性職員が月1回程度行っている。

Q 保健福祉総合センターに計画中の公共施設再エネ設備事業において、今後のスケジュールは？

答 プロポーザル方式で募集し、プレゼンテーションが3月27日。国の2次公募が5月連休明けの見込み。整備は、令和5年度末に終了の予定で進めている。

Q 災害備蓄用品に生理用品はあるのか？また、備蓄している非常食の期限切れの取り扱いはどのようにしているのか？

答 生理用品は備蓄している。非常食などの保存期間は10年前後だが、早めに更

新している。期限間近の品は、配布を含め検討したい。

Q 消防器具箱のホース点検更新はどのようにしているか。

答 更新計画を策定し、それをもとに更新している。



4月2日の出初式には村の有志による吹奏楽の演奏も加わり華やかに演奏が行われました。

定住支援室

Q 今年度、定住支援室が「地域おこし協力隊」を募集するとの事だが、応募状況は？

答 現在、応募されている方は以前より高山村に何度か来ており、高山村に住みたいと思っている方で、空き家対策を積極的に進めたいと考えている。

Q 3年間の「地域おこし協力隊」の任務が終了した

後、定住の考えを持たれているのか？

答 将来は空き家でカフェと英語塾を兼ねたような事業を考えている。

健康福祉課

Q 保健福祉総合センターのバス停留所に時計がないので、設置できないか？

答 人目につく所に時計を設置することを検討したい。(答弁後、設置された。)



Q 糖尿病等発症予防、重症化予防対策事業の成果はどうか？

答 保健指導等により県下最下位から中位に改善している。

Q コロナ前に大変盛況だった「寄ったい市場」は今年の開催は？

答 関係者と協議し、開催に向けて検討していきたい。

住民税務課

Q 乳幼児おむつ購入助成事業の助成方法は、おむつ券の発行か？村内店舗は利用できるのか？あるいは現金給付によるのか？

答 おむつを購入した領収書による助成形態を考えている。

要望 手続きを簡素化して、申請者の負担にならないような手続き、支給を要望する。



Q マイナンバーカードのコンビニ交付の利用状況は？

答 2月末までで105件。月に35件程度。

Q 高齢者一人世帯の「ふれあい収集」の利用者数は？

答 現在は8名。



令和5年度 予算審査特別

産業振興課

- Q** 農業の担い手の状況は。
- 答** 令和5年度は1名里親研修の予定。2年後に就農予定。
- Q** 松川沿いに恒久電柵の設置要望の声があり村の考えは。
- 答** 管理体制を踏まえて該当区長と相談する。
- Q** 有機野菜を学校給食に取り入れて欲しい。
- 答** 現在、地元野菜が不足しているので、今後提供いただけるよう、野菜栽培の募集を考えていく。
- Q** 現在フクイハラコンポの生産が少ない為バラ対応が出来ない状況となっている。今後の生産量の見通しは。
- 答** 主原料の牛糞が減少しているため、今後については検討中。
- Q** にぎわいの場の工事について、施設の維持管理を誰が行うのか決めてからの着工を。
- 答** にぎわいの場構想検討委員会でも指摘があった。検討する。
- Q** 高山まつりについて、

建設水道課

- 実行委員会での今年の開催についての考えは。
- 答** コロナ対策をしつかりした上で開催したい方向で考えている。
- Q** 水道料金の減免は金額的に少ないのではないか。
- 答** 基本料金のみ減免を3期分行う予定。
- Q** なかひら土捨て場の整備後の管理はどうなるのか。
- 答** 管理については、中山活性化委員会に委託する予定。
- Q** 積雪時における除雪作業の高齢者・生活弱者への対応は。
- 答** 民生委員と相談し福祉係と対応する。

教育委員会

- Q** 児童クラブにおける土日の対応はどの様になるのか。
- 答** 放課後に子供たちが安心して過ごす事が出来る場の提供により保護者の負担軽減をはかる。土日も対応したい。

総括質疑

議会事務局及び 監査委員事務局

- Q** 語学指導講師（ALT）に欠員が生じている、早期に改善する見込みは。
- 答** 県や斡旋業者と相談しているがなかなか難しい。
- Q** 中学校部活動の地域移行への取り組みは。
- 答** 地域の方々と中学校体育連盟等と連携し進めたい。
- Q** 議会報告会を実施することだが、集落センターなどの施設を借上げる費用を計上しているか。
- 答** 前もって区長等に相談して、各地区の公共施設を借りることを考えている。

一般会計 山崎秀治 議員

国民健康保険特別会計 山崎秀治 議員

- 一問目** にぎわいの場創出事業について、ハイキングコースの決定経過や事業により起爆剤となつて発展が見込めるのか。
- 内山村長答弁** 長期滞在に結びつく様進めたい。
- 二問目** 学校給食について令和5年度は161円の補助以上はないか。また段階的無償かの公約は反故されるか。
- 内山村長答弁** 令和5年度はそれ以上の補助はない。令和6年度は他の支援とのバランスを考慮した上で検討したい。
- 質問** 資産割を廃止することによって応益割の比率が高まり、低収入世帯や家族人数が多い世帯ほど負担が重くなる。収入に応じた負担をすべきではないか。
- 内山村長答弁** 条例改正は資産割のみの廃止であり、均等割、平等割の応益負担率については、現行どおり。今後、医療給付費の推移を注視しながら、県の方針に沿って、国民健康保険会計の安定経営に努めたい。

3月定例会

令和5年3月定例会は3月2日から17日までの日程で開催されました。
 今議会には、令和4年度補正予算、令和5年度当初予算、条例、承認案件など計32件が提案され、いずれも原案どおり可決されました。
 一般質問には10名の議員が登壇し深刻な人口減少問題など、村政の課題について質問しました。

議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 / ●反対)

議案名	久保田雄吉	勝山正弘	滝澤聖	梨本進	沖島祥介	高井央葉	黒岩清道	湯本辰雄	松本茂	山崎秀治	柴田弘男	西原澄夫
専決予算の承認を求めることについて(令和4年度高山村一般会計補正予算(第6号)) 概要:降雪量の増加に伴う除雪事業に要する経費を増加	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について 概要:衛生組合の解散及び、名称変更による規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野広域連合規約の変更について 概要:「特別養護老人ホーム久米路荘」及び「信州新町デイサービスセンター」を社会福祉法人に移管伴う規約の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野広域連合における財産の処分について 概要:社会福祉法人に移管することに伴う建物、物品類の譲渡処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例 概要:行政手続きにおいて特定の個人を識別するための番号を必要限度で提供する為の条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村税条例の一部を改正する条例 概要:県の方針により、現行の国民健康保険税の「資産割額」をなくすための条例の改正	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○
高山村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 概要:保育施設の運営の基準を定める条例を国の法改正に整合させるための条例の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 概要:子どものバス送迎での安全管理の徹底を行うための条例改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 概要:放課後児童健全育成事業者が利用者の安全の確保を図るための条例の一部条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村地球にやさしい環境基本条例の一部を改正する条例 概要:「温室効果ガスの排出の量の抑制」を「量の削減等」に改める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村国民健康保険条例の一部を改正する条例 概要:出産育児一時金を「408,000円」から「488,000円」に増額するための条例改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地に係る総合整備計画について 概要:奥山田地区の村道改良事業、大型除雪機購入、小型動力ポンプ等購入、観光施設整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村道路線の認定について 概要:主要地方道豊野南志賀公園線の改良に伴う、接続する村道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○
令和5年度高山村国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○
令和5年度高山村診療所特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村温泉開発事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村上水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度(令和3年度繰越明許)農業水路等長寿命化・防災減災事業中山地区用排水路改修工事(2工区)変更請負契約について 概要:舗装復旧面積等の増工に伴う変更請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村一般会計補正予算(第7号) 概要:ふるさと納税寄付金の増加、住民非課税世帯等臨時特別給付金などの精査による減額他	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 概要:保険給付費などの事業精査による減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村診療所特別会計補正予算(第2号) 概要:医薬品購入費など事業精査による減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村介護保険特別会計補正予算(第3号) 概要:特定入所者サービス等費など事業精査による減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 概要:後期高齢者医療広域連合給付金など精査による増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村温泉開発事業特別会計補正予算(第4号) 概要:施設整備基金積立金など精査による増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 概要:委託料、工事費の確定等による減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村下水道事業特別会計補正予算(第2号) 概要:修繕費、委託料など事業精査による減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度高山村上水道事業会計補正予算(第3号) 概要:建設改良費など事業確定に伴う減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 「最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 概要:陳情者一長野県労働組合連合会 付託委員会一福祉産建常任委員会	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書 概要:日本では最低賃金は都府県ごとに決められているが、諸外国のように全国一律の制度に改めるとともに中小企業などへの支援拡充・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

勝山 正弘 議員



主要地方道須坂中野線の
未開通問題について

問 令和3年の12月定例会の一般質問で、本路線の重要性と村民への周知を『あらゆる機会を捉えて周知活動を行う』と明言されたが、実施していないのでは？また、トンネルといったコスト面が問題であれば、他のループ等の開通のできる方法を考えたか。

建設水道課長 一年を経過するが村民への周知活動を行っておらず、また、トンネル以外工法も検討できておらず、周知については早急に対応して参りたい。また、未開通の県道を開通する為に、引き続き、県や県議会へ粘り強く要望して参りたい。

防犯灯の維持管理について

問 防犯灯は、夜間における村民の安全及び犯罪被害の未然防止を図るために設置され、最近では蛍光灯や水銀灯からLEDに切り替えられてきている。そこで現在の設置状況や、隣接している地区と地区を結ぶ道路、生活道路と通学路についてはどこが管理しているのか？また、

最近ではカメラ付き防犯灯があるが、これはリアルタイム監視を目的にしておらず、定点カメラで二十四時間ひたすら画像を撮り続ける単機能のものでSDカードによって保存され、コスト面でも安価で対応できる。道路のほか、駐車場、公園等、必要と思われるところに設置できるが村としてはどう考えているのか？

建設水道課長

村が管理している防犯灯は224基、道路照明等は24基、県が管理している道路照明等は70基あるが、各地区で維持管理している防犯灯は、把握していない。地区と地区を結ぶ幹線道路は村が整備し、地区内の生活道路についてはそれぞれで自治区で整備している。通学路については「高山村通学路交通安全推進協議会」において要望のあった危険箇所など現地調査を行い、検証や把握に努めている。安全対策については、カメラ付き防犯灯も検討しながら、整備を行い、防犯対策に努めてまいりたい。

高井 央葉 議員



加工施設及び加工品研究を

自治体公式LINEの
導入を

問 これまでも加工施設を作つて欲しい等の希望は多いが、一言で「加工施設」と言つても「何を」「どのように」「必要な設備」「安全性の試験」や「商品化」まで、多くの研究が必要であるため、チームを作つて取り組んではどうか。

産業振興課長

村では、高山村産の農産物や地域資源を活用した6次産業化への取り組みなどの活性化を図るため、今後も意欲ある皆さんに寄り添った支援をして参りたい。

県の施設であり、次産業化に向けたアドバイスもしているだけ「しあわせ信州食品開発センター」を活用していただけるような幅広い情報提供を行うと共に、多くの皆さんと情報交換ができる場を設けられるよう関係の皆様と協議をして参りたい。

問 スマホやタブレットなどの普及に伴つて「自治体公式LINE」を導入している自治体が増えているが、高山村でも導入してはどうか。

総務課長

現在の情報伝達手段だけでは、利用者が自ら情報を得るために能動的な操作や行動を行う必要があるが、特に防災行政無線は、自宅にいないと放送を聞くことができない等の課題があることから、今後、直接個人のスマートフォン等の端末にプッシュ型の情報発信が可能となるよう、「LINE公式アカウント・地方公共団体プラン」を含め、情報伝達手段の導入について、検討して参りたい。また、SNSを活用した相談サービスの提供には、予想される相談件数の増加やきめ細やかな対応に向けて職員体制を整える等、慎重に検討して参りたい。

沖島 祥介 議員



ふるさと納税制度について

問 本村におけるふるさと納税制度の寄付額は昨年度より倍増したが、須坂市は今年度約30億円である。本村は伸ばせる余地は十分にあるので、目標を3億円とした場合の取り組みについて尋ねる。

総務課長

りんご、ぶどうの出荷量の拡大、評価の高いワイン等の導入を検討。返礼品の詰合せセット、企業版ふるさと納税制度、クラウドファンディング型による寄付等は検討していく。人材の確保にあたっては、地域おこし協力隊、民間事業者への業務委託など様々な方法を検討していく。

本村における少子化対策と、各年代層別の各種手当と支援事業の魅力について問う

問 本村、直近4年の合計特殊出生率は0.94と全国平均の1.36より劣っている。岡山県奈義町は合計特殊出生率2.95と全国でもトップクラス。本村とどこが違うのか？また、本村で導入予定出来そうな政策があるかを問う。

村長

本村の財政状況は大変厳しい中ではあるが、少子化対策は喫緊の課題である。効果の上がる子育て支援策を検討する。今年度からは、新たに3歳未満の乳幼児に対して、年間2万4千円のおむつ購入の補助を行う。現在ある「福祉のしおり」を一体的に見直し、各世代の支援策として、一覧にまとめ、PRしていく。

役場職員の採用について。中途採用枠の年齢、給与の見直しを図ってみては？

問 本村における危機管理対応の上でも、本村在住の職員数を増やしたい。また、一度は村外に出た人たちが「最後は戻って来よう、高山へ」のような受け皿が出来ないか？

副村長

平成25年村内在住の職員数の割合は74%だったが、現在は50%程度。村内在住の職員を増やす事は村民にとって安全、安心につながる重要な事。中途採用年齢は臨機応変に対応していく。給与については、本人の努力が反映される仕組みを構築し、運用している。村内在住者を増やす職員住宅建設については、前向きに検討していく。

滝澤 聖 議員



チャオル周辺施設の歩道照明の運用改善を

問 樋沢橋よりYOUランドまでの街路灯を確認すると点灯していない物がある。村施設の防犯灯の利用や障害となる樹木の枝払い、移設工事などの考えはないか。又保健センターバス停の夜間照明が暗い、改善出来ないか。

健康福祉課長

各村施設内に設置してある防犯灯については歩道に近い物は今後検討したい。又街路灯に障害となる枝払いの管理は職員により実施している。今後も状況を確認しながら行う。街路灯3基の移設工事は効果的な場所に移設する様検討したい。保健センターバス停の夜間照明は器具の選定を含め早急に検討したい。

住宅地周辺の森林伐採による環境改善の実施状況は

問 住宅地周辺の森林を皆伐しないと冬期間日照の妨げになっている。桜やもみじの植

栽により改善することが出来ないか又牧地区で現在行われている急傾斜地対策工事は来年以降も予定はあるか。

産業振興課長

牧地区内の民有林については森林組合との合同で森林計画が策定され、村が認定しているが、住宅地周辺の皆伐については、山腹崩壊防止などの災害リスク、景観の影響を確認する必要がある。更に再造林については水源涵養等の観点から重要であり、低樹高で落葉する広葉樹が望ましいと考える。子安橋南側で施工されている砂防事業の急傾斜地崩落対策事業は令和6年まで計画されており、この事業により、区域の皆伐も実施され結果的に日照の確保が図られる。



牧工事現場。

松本 茂 議員



移住・定住の促進のための 住宅・宅地の整備について

問 移住・定住の促進は人口増大対策の大きな一助になると考えます。

村内で新規住宅の建設を促進するため、早急に良好な宅地の確保と安価な居住環境の整備された宅地造成の促進を求めます。

また、私の12月議会一般質問で人口対策について質問し、内山村長からは『宅地造成の用地の選定を進めてきたが候補地選定には結びつかず、進んでいないのが現状であります。一年でも早く着手できるように進めて参ります。』と答弁をいただきました。その後選定努力はなされているのでしょうか。

村長

令和6年度までの推進計画として、第2期目の「高山村総合戦略」を策定し移住定住に繋がる居住環境の整備・充実を図るため、新たな村営住宅の整備を含む宅地造成の促進を図ることとしています。

「事業着手に向けた努力は

なされているのでしょうか」とのお尋ねであります。また、まとった用地・分譲価格など、大変条件が厳しい中ではあります。現在も継続して慎重に候補地の選定など、検討しているところでです。

地域情報発信拠点の整備について

問 山田牧場も賑わいの場構想の候補地であります。現在ある高山共撰所・高山亭・セブンイレブン・コメリ付近に道の駅・アンテナショップとしての直売所・食事処・

新商品の開発事業ができる地域情報発信拠点の整備を高山村発展のため整備を求めます。



高井側に賑わいの場核店舗を!!

村長

村単独の財源だけでは限界がありますことから、特定財源を確保したうえで構想を具現化してまいります。

人口減少と高山村の未来像は



問 村の総合戦略の中で、令和3年の出生数、合計特殊出生率は、基本目標の半分ほど。子育て世代

が、2人目、3人目を生み育てたいと思える支援が薄いのではないのか。また、若い世代が移住する判断材料として、治安が良い、自然が多い、子供が遊べる公園がある、教育施設が充実している、交通の利便性が良い、買い物施設が近い、世代間のコミュニティがあるなどをあげている。

①高山村も危機感を感じて、村の独自性を感じる子育て支援策を考える時と思っどうか。
②交通の利便性について、意見や要望を話し合い提案する仕組みや、交流の場にもなるハブ的なバス待合所を作る必要があると考えるが、いかがか。
③世代間のコミュニケーションの場所の公民館であるが、議員視察で豊丘村の公民館と図書館を見学した。総工費が8億5千万円ほどに驚いた。社会環境や住民のニーズが変

化している今、再度検討をすべきと考えるが、いかがか。

村長

①村独自の支援策として、出産祝い金や、高校3年生までの医療費特別給付など、様々な支援策を行ってきた。さらに新年度からは、3歳未満の乳幼児のおむつ購入費として2万4千円までの補助を予定している。更に子育て支援策の検討を重ねて参りたい。
②新たに「第2期地域公共交通計画」の策定に向けて進めていく中で、その必要性も含め、利用者の皆様からのご意見やご要望をお聞きしながら、全体像を捉えつつ検討してまいります。

③新しい施設建設に対しましては、村民のご理解をいただかなかつたことから、現在の公民館を改修することとした。





久保田 雄吉 議員



高山村の『将来の人口は3000人』 になるかも!?

問 12月議会では7年後の高山小学校は、5年生までが、1クラスずつの編成になると

いう由々しき事態の内容の答弁であった。

子供達が少ないので、高齢化に向かって一直線となり、人口の半減や、集落の維持の困難という想像したくない未来がやって来ることになる。

農業や商工業はどうなってしまうのか？

村の各種行事、文化が受け継がれていくのか？

そして、半減というのは、十分に減ることですから、5割の確率でわが家だつて無くなる、という深刻な事態でもある。

人口6649人の村で、小学生がたった1クラスずつ(35人以下)というのは異常な事態ではないか、普通なら有り得ないように思えるが、

村長の見解を聞きたい。



空き教室が増えるばかり…。

村長

小学校のクラス数の減少は、少子化の影響により大変厳しい状況にあると認識している。

この減少傾向が続いた場合に高山村の将来の総人口は3千人を下回ると思うが、村はどう考えるのか

村長

村の将来人口推計によると、40年後の令和42年には4800人と予想されているが、それ以降の人口推計は実施していない。

人口減少の非常事態と認識して、踏み込んだ特別対策が必要ではないかと思うが、村長の考えを聞きたい

村長

出産祝い金や家庭育児給付金などの施策を継続して実施するとともに、先進事例等を調査・研究し、新たな施策の導入の検討など総合的な支援策を講じて、人口減少の抑制につなげて参りたい。



山崎 秀治 議員



どうなる、5年度の学校給食費

問 ●物価の高騰が続いているが、給食費は改定するの。その際、5年度の学校給食費について保護者負担はどうなるのか。

●学校給食の食材に、有機米・有機農産物を取り入れる考えは。

●村長の公約からしても、また、義務教育無償の点からも、完全無償化を求める。あと、1400万円ほどで無償化は実現できる。予算の僅か0.3%、実現すべきでないか。

村長

●来年度は一食21円の値上げとなるが、この分は村負担とし、従来からの140円にプラスして1食161円補助する。

●有機農業に取り組んでいる方との情報交換が必要。話し合いの場を設定できるように情報収集に努める。

●高校生が貧困のために食事にも満足に取れない記事を見て、これが段階的無料化の考えの発端である。子ども支援策として何が重要か慎重に検討しなければならぬ。

農業者年金の掛け金に 村の補助を

問 農業者が加入できる農業者年金に、いま、加入している人が少ない。令和2年度で11人、3年度で9人である。この制度はどのように周知しているか。

有利な制度なのに加入が少ないのは、国民年金と合わせる負担が重くなることにあると思う。村が掛け金補助をして加入促進を図るべきでないか。

産業振興課長

農業者年金相談会の開催や、パンフにより地球クラブや認定農業者協議会になどを通じて周知に努めている。

この制度は、保険者が受給する積立である事や、国の補助もあることから、村が嵩上することとは考えていない。



湯本 辰雄 議員



森林の利活用は

問 森林は木材の供給と国土・環境の保全、水資源の涵養、生物多様性など国民生活に不可欠な役割。村

の森林は村面積の85%。30%は杉やカラマツの人工林。脱炭素社会の実現に向けて、森林の活用策は。

- ① 県知事との集会の議題がなぜ林業政策だったのか。
- ② 広葉樹の育成計画は。
- ③ わらび温泉の加温やバイオマス発電、薪の生産等の事業化は。

村長

- ① 林業の現状と課題を共有し、県の取組みに関心を持た。
- ② 今後も景観整備をし、災害に強い森林に更新し、広葉樹への



景観と水の保全に森林管理は万全に。

更新も検討する必要がある。

③ わらび温泉の加温には断念したことがある。今後の森林活用は検討したい。

国民健康保険税について

問 国保税の未就学児童の均等割り半額が開始された。全

国では18歳までの均等割り軽減が、本気の子育て支援として取り組まれている。村でも200万円余の予算があれば、18歳までの均等割りを廃止できると思うが。

村長

① 未就学児童の均等割り軽減が全国一律に実施されたことは有効なこと受け止めている。

② 村独自に子供均等割り軽減を実施した場合、「保険者努力支援制度」でペナルティがあるので、廃止は難しい。

③ これからも県の統一方針に沿ってやっていく。

④ 国保は国民皆保険制度で、県が主体となって統一の方針を立ててやっている。村も県の統一方針に沿ってやっていくということが基本となる。

梨本 進 議員



小水力発電の事業化について

問 貴重な地域資源である河川、砂防堰堤などを活用した小水力発電の事業化は、売電収益で将来

にわたり自主財源の確保が可能である。松川の小水力高井発電所の実績を検証し、県の「エネルギー自立地域支援事業」への積極的な計画づくりなど、地域資源の活用と再生可能エネルギー地産地消の施策として、小水力発電の事業化の推進を！



松川砂防堰堤。

総務課長

高山村地域再エネ導入戦略で本村の再生可能エネルギーは太陽光発電と木質バイオマス発電の期待が高い地域。松川の高井発電所は固定資産税や法人税、土地貸付料など7年で約4800万円の収入。

県の「エネルギー自立地域創出支援事業」は具体詳細が示されてから活用すべきか検討して参りたい。現在新たに民間事業者から、樋沢川に小

水力発電やバイオマス発電計画の申し出ある。災害時を含む電気供給の取決めなど、「地域活用要件」を検討し、まずは民間事業者において事業を進める方向で考えている。

2050年までにゼロカーボンが達成できるよう脱炭素化に取組んで参りたい。

子育て若者住宅の建設について

問 子育て世帯の定住目的に子育て家族が使い易い特色のある村営住宅建設や、空き家借り上げ事業で移住者向けの賃貸住宅の提供を！

また各地区に「若者住宅団地」の建設を！

村長

子育て家族向けの住宅の必要性は高い。今後の計画の中で、住宅団地の造成地内に、村営住宅の建設も検討を進めたい。重点事業の「空き家活用賃貸住宅設置事業」により移住希望者が、少ない初期費用で村内生活がおくれるメリットがある。宅地造成は農地転用や需要見込みなどを考慮して、候補地選定は慎重に検討している。

あの質問あれからどうなった？



地域おこし協力隊について

(沖島祥介議員)

問

(令和4年9月定例会)

『地域おこし協力隊』の制度を高山村でも、もっと活用したらいかがですか？

答

しっかりとしたビジョンを策定して募集していきたい。

定住支援室にて、令和5年度に空き家対策などの仕事を担う「地域おこし協力隊」の募集を令和5年2月に行い、4月から任期を開始する。

本郷交差点の信号機改良について

(沖島祥介議員)

要望

本郷交差点の信号機改良について要望した。

本郷交差点は、サマーランド方面から高山村方面への右折について、特に朝夕など交通量の多い時間帯には、対向車が切れ間なく通過するため、右折が困難なことから、須坂市道本郷宮原滝之入線の本郷交差点の信号機を右折矢印付き、または時差式信号機へ改良して欲しいという要望書を須坂警察署に対して、高山村議会議長名で提出。

結果

感知器を設置した。

片方の道路のみの右折矢印や、時差式信号機の設置はできないため、新たに信号機に感知器をつけ、高山方面の右折車が多い場合は感知により青信号の時間が伸びるように対策した。右折車が多い時には青信号の時間が長くなることにより、右折車側の渋滞が以前より解消される。ただし、対向車も来るので、注意しながら慌てず右折願いたい。

村の鳥獣被害の対策について

(黒岩清道議員)

問

被害の発生が常態化し危機的状況にあり、また高齢化が進み、電気柵の周りの雑木・雑草の駆除が悩みの種になっているが。

答

村民からの情報提供や有害鳥獣を寄せ付けない環境づくりに協力頂くとともに、大き目の仕掛けや、音、音波などの侵入防止対策と駆除などに努めて参りたい。

村民の足である公共交通について

(黒岩清道議員)

問

通学や通院に応じたダイヤ・ルート・村の拠点などを話し合える場を設けて、意見や要望を、提案する仕組みを作る必要があると考えるが。

答

検討したい。

協議会という大規模な組織とは別に、ご意見・ご要望を出しやすい小規模な仕組みを構築する必要性については、今後の進め方の中で検討させていただきます。

新たに「第2期地域公共交通計画」の策定に向けて進めていく中で、その必要性も含め、利用者の皆様からのご意見やご要望をお聞きしながら、全体像を捉えつつ検討してまいります。



入区金について

問

(令和3年12月定例会)

入区金は、移住者にとつては大きな問題である。区としても入区者が増えることを望んでいることもあるので、村としても一歩踏み込んで村民の意識を高めるとともに、各区と入区金の在り方について協議を進める必要があるのではないか。

答

(高井 央葉 議員)

村としても研究して参りたい。

その後

区で協議する中で、一定の条件を設ける等しながら変更や検討を始めた区もある。

(牧区において、入区金を15万円から条件付きで減額など)

生理用品について

問

(令和3年6月定例会)

「生理の貧困」が問題になる中、県内のいくつかの自治体でも必要な方への生理用品の無償配布を始めたが、災害備蓄品、小中学校女子トイレへの設置等、高山村としての対応は。

答

災害備蓄品としては検討。小中学校トイレへの配置は適当でない。

現在(令和3年6月当時)、災害備蓄品として生理用品を備蓄していないため、今年度の当初予算で

生理用品に関する予算を計上しており、今後実情等を見極めた上で検討して参りたい。

その後

備蓄品として整備した。期限間近の品は、配布を含め検討したい。(令和3年12月議会 黒岩議員の一般質問答弁より)

生理用品をトイレに置くことは、子ども達にとって利便性は高まるものと思われる。一方で、衛生用品としては安全性に欠けるものと思われる。研究を深めていきたいと思うが、現時点では保健室で安心して使用することが出来る体制をとっていく。

生理用品をトイレに置くことは、子ども達にとって利便性は高まるものと思われる。一方で、衛生用品としては安全性に欠けるものと思われる。研究を深めていきたいと思うが、現時点では保健室で安心して使用することが出来る体制をとっていく。

議会報編集特別委員会

研修報告



議会報編集特別委員会研修会

町村議会広報研修会報告

日時 令和5年1月25日

場所 長野県自治会館

出席者 黒岩清道 久保田雄吉 滝澤聖 沖島祥介 高井央葉 松本茂 柴田弘男

内容 「住民に読まれ、伝わり、議会の見える化へ 議会広報の基本と編集」

議会報編集クリニックと題し、希望する市町村の議会報を例に出して、具体的にここが良い、悪いを指摘し、今後の編集に役立てる内容でした。

令和4年度

町村議会広報クリニック

日時 令和5年2月14日

場所 東京都 全国町村議員会館

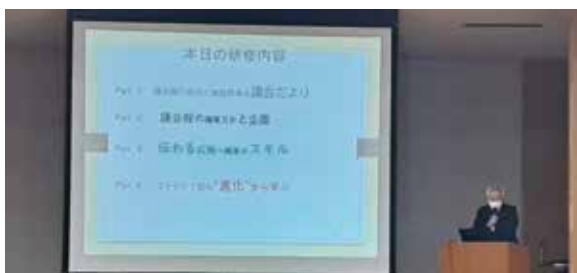
出席者 黒岩清道 久保田雄吉 沖島祥介

内容 「クリニックの視点 広報力のある紙面か？」

一番大事なことは、読者に読まれなければ意味がない。読まれるには「いかに興味を引く紙面にするか？」を繰り返し講演されていました。また、表紙に読者を載せることが手に取って読まれる秘訣であると熱弁されていました。(沖島祥介)

1/25

2/14





2月7日、議会報告会の取り組みを行っている軽井沢町議会に伺いました。

当日議会から土屋議長はじめ4名の議員に應對して頂きました。

議会報告会は平成15年に「議会改革検討委員会」を設置し、町民が関心をよせる議会づくりを目指すため「住民懇談会を積極的に開催する」項目が盛り込まれました。平成20年10月に全員協議会にて「議会報告会開催要領」が了承され、同月町内3会場において第1回の報告会を開催しました。以降現在まで延べ23回開催しています。

同議会は監視機能や政策提言活動など議会活動の状況を地域に出向いて直接報告・説明し、町政に関する情報の提供に努めることを目的としています。さらに議会に対する批判や意見も聴取し、活力ある発展に資することとしています。

実施時期は3月及び9月の定例会後に実施し報告内容は本会議の概要、委員会報告、視察報告、当初予算及び決算の審議状況、その他、町民が関心を

よせている事項の説明も行っていきます。

本村の議会も村民に寄添い村が行う行政運営に積極的な対応を行うため「議会と村づくりを語る会」を計画しています。大勢の方の参加をお願いします。
(滝澤 聖)



軽井沢町議員と高山議会運営委員会との懇談。



軽井沢町営EV車用充電スタンド。(役場駐車場内)

この視察研修の内容を委員会で話し、議会と村民の距離を縮めるこんなことを企画しました。

『議会と村づくりを語る会』を開催します！

議会活動の内容を直接お伝えするとともに、住民の皆様の高関心のテーマを設けて、ワークショップ形式で参加者と議員が一緒に考え、住民の意見を村行政運営に反映することを目的に『議会と村づくりを語る会』を開催することにしました。

年内に村内5会場（消防団のブロックエリア毎）での開催を予定しており、5月は第1、第4ブロックの会場で開催します。

たくさんの皆様のご参加をお願いいたします。

- 第1ブロック：堀之内研修センターにて
5月14日(日) 午後2時～
- 第4ブロック：中山会館にて
5月21日(日) 午後2時～

今回のトークテーマは

『子育て支援について』『地域の課題について』です。

当日この「たかやま議会 142号」をお持ち下さい。



議会活性化特別委員会

議会活動、議員活動の『見える化』を実施していきます

1 議会報告会の開催

令和5年度開催に向けて、一方通行にならない報告会にしたいと他議会の開催状況の視察などを行い、検討しています。

2 読んで分かりやすい議会報の内容づくり

「読んでもらえる」、「読みやすい」紙面づくりに努めます。

3 一般質問 YouTube 配信の周知

昨年より始まったYouTube配信ですが、今後は周知にも力を入れ、たくさんの方に見てもらえるように工夫します。

4 高山村議会の Facebook ページ開設

情報発信ツールの一つとして、高山村議会のFacebookページを開設しました。議会の様子を少しずつ投稿していきます。

5 議会モニター制度の変更

議会モニター制度を取り入れて2年が経ちました。よりモニター活動しやすく、議会と関わっていただけるよう、内容なども見直して、取り組んでいきます。

議会モニターさんより

3月2日(木)、8名のモニターさんと2年の任期最後の議会モニター会議を開催しました。議会からも多くの議員が出席し、12月議会の様子や議会報141号について、ご意見をいただきました。

一般質問はどのように考えているのかが分かると思います。議会報がカラーになって見やすく良かった。中学生議会もあるが、もっと子供達との交流などがあると良い。

一般質問がYouTubeで見られるようになって良かった。モニターをすることで活動が知れて良かった。視察研修の感想良かった。

『私の声』は地元村民なども取り上げてみては。活性化していると思う。議場を見ることが良かった。弱者目線での質問をしていただいている。

公共交通の質問は、答弁をもっと深堀してほしい。議員の活動をもっと出したほうが良い。

議会としても村民の皆さんのご意見が聞ける体制について考えていきます。

YouTubeが入ったので良かった。きらめきポストを幅広く活用してほしい。

改めて、新しくなる議会モニターに向けてご提言いただきました



澤井さん
(堀之内)

楽しく、明るく、助け合える人、場所づくりが出来たら良いですね。



荒井さん
(中原)

モニターも意見を言って終わり、ではなく、前向きな意見や提案を具体化し、活性化に反映させてほしい。



宮川さん
(紫)

直接の会話は消えてしまうので、メール等、残るもので意見をもらってはどうか。ペーパーレス化も進めて欲しい。

パートナーシップ(協働)から

SDGsを考える

長野県NPOセンター

事務局長 阿部 今日子さん

1月20日(金)、村議会主催の令和5年新春講演会を開催しました。

今年、「パートナーシップ(協働)からSDGsを考える」と題して、長野県NPOセンター事務局長の阿部今日子さんをお呼びし、改めて「持続可能な開発目標：SDGs」の基本理念をおさらいすると共に、様々な事例をお聞きし、高山村が持続可能な村であるために必要な「チカラ」＝ひと・もの・ことについて、グ

ループに分かれて出し合い、話し合いました。

●「持続可能な開発目標」SDGsとは

SDGsは、2015年に国連加盟193か国が全員一致で採択した2030年までに達成する行動計画のことで、17の大きな目標が掲げられています。最近良く聞かれるようになった言葉ですが、突然できたわけではなく、SDGsができた背景には、社会や環境の変化や人権尊重の考えが広まったことなど、人びとの営みや歴史があるということをおさらいしました。



日本は、達成済みの目標がある一方で、多くの課題が残っており、中でも『3すべての人に健

康と福祉を』という目標では、自殺の問題や幸福度の低さ、性教育の遅れなどに課題があること、『5ジェンダー平等を実現しよう』という目標では、日本のジェンダーギャップ指数の低さ、「男だから」「女だから」というなかなか抜けない固定概念があるなど深刻な課題が残るとされていることなどを伺いました。

SDGsの目指す世界では、誰一人取り残さない、全ての人が主役になる未来が描かれています。そのためには、一人ひとりの主体性がポイントになってくること、『自分ごと』にしていくことが大切ということを学びました。

●高山村が持続可能であるために

主体性がポイントというお話を聞いた後、もちろん主体性は大事だけれど、それだけで良いの？というところで『17パートナーシップで目標を達成しよう』について他地域の事例をご紹介いただきました。そして、4人程のグループに分かれて、高山村にはどんな力や資源があるのかを出し合い、何か出来るようなことはないかなどを話し合いました。少人数で意見を交わすと、



編集後記

WBCで日本が優勝し感動した。中でも信州人である牧秀悟選手の活躍がうれしい。村議会は17日に定例会が閉会し、反省会が久しぶりに行われた。宴の最後は定番のお盃ごとであるが、コロナ禍であるので行わないかと思いきや「お肴」の指名が来た。謡曲は持合せがないので違う唄にした「高山中学校校歌」である。

(群山青く めぐらして
西に傾く 高野原 遙か
連なる アルプスの 永久
の白雪望みつつ 大いなる
かな わが山河)である。
村を山が3方囲み遠くに見えるアルプスを詠った曲だ。近くを見回し、遠くの未来・希望を詩にしたものと思う。

校歌のように自身を見つめ信頼される議員になれるよう言葉を慎み頑張りた

い。(滝澤 聖)

お互いの見え方が違うということにも気付きました。あることが「当たり前」だと思っている村民の目線と、それを「憧れ」に思う外からの目線、そこに何かプロジェクトなど協働の形が生まれそうな話も出てきました。

村の誇りが課題でもあり、逆に課題が誇りにもなることに、こうした対話を通して気付いきつかけとして動いていけると感じた時間でした。そして、こうして出てきた発想をまずはやってみることに出来る土壌づくりをしていけたらと感じる講演会となりました。

発行責任者

議長 西原 澄夫
議員 黒岩 清道
委員長 久保田雄吉
副委員長 柴田 弘男
委員 松本 茂
委員 沖島 祥介
委員 滝澤 聖

3月定例会一般質問の
通告書及び、Youtube
動画へはこちらの二次
元コードからどうぞ。
(村ホームページへ行
きます)



発行 / 長野県高山村議会
編集 / 議会報編集特別委員会
TEL (026) 214-9763
印刷 / 株式会社